

世田がや町総連左より

第1号

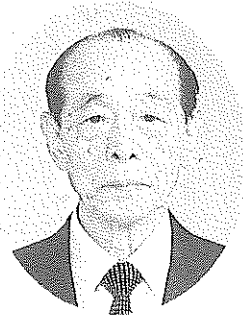
発行 世田谷区町会総連合会
 世田谷区世田谷1-23-3 ☎ 3429-1111
 発行人 会長 三田 隆 眞
 編集 情報誌編集委員会
 編集委員長 渡 辺 三 郎

情報誌の発刊にあたって

世田谷区町会総連合会

会長

三田 隆 眞



世田谷区町会総連合会
 会長
 三田 隆 眞

数回の会議と懇談を経て

いよいよ正式に世田谷区町

総連の情報誌が発刊される

運びとなった。これもひと

えに委員の皆さんの熱意と

役員一同のご協力の賜と、

感激に堪えません。

就いては、私の考えてい

るところを、簡単に、解り

易いように述べてみようと思

います。



町総連は、現在一九一もの町会から成り立っています。従って、世田谷、北沢、玉川、砧、烏山の五地域が皆同じ歩みで、同じ考え方だと断ずることは早計かも



事務局屋上より眺めた用賀方面

また、それなるが故に地区や地域に他と異なる良さ

がありません。何故なら、それぞれの地域・地区には自らそれぞれの気風、習慣、風格があつて、それが日に見えぬところで、気分感情や行動に多少の変化を与えているものです。



第二は、行政の要請に対して、どのように動いているかということです。

ある特定の事柄、または総ての問題を通して、事を運ぶについて、物分かりよく、主旨及び結果が良く、話して理解さえ得られれば、それぞれの責任者に進行や行動を任す、とするなど、

要は各人の信頼と実績と理解に任せて事を進めてゆくような即決的な運び方であつても、一度も不正も間違ひもなかったというところもあるかと思ひます。

逆に、それぞれの事柄すべてに亘つて、慎重に事を運ぶことに、全力を注ぐところもある筈です。

第三には、大まかに言つて、年中行事は毎年似たり寄つたりです。しかし、その中で、親睦会などどのようなに楽しみ、いつやっているかなど、お知らせ願ひたいことです。



事務局屋上より桜小学校方向を望む



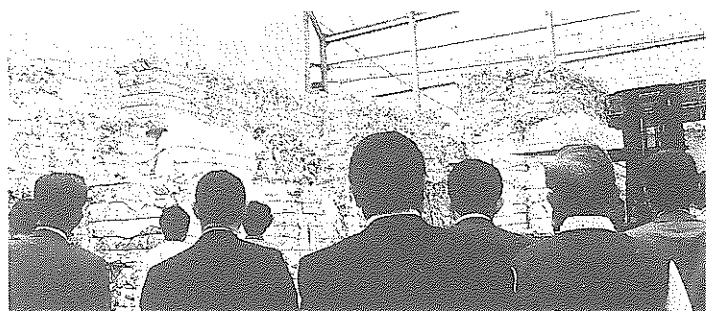
心と心との交流こそ、物事の発展進歩に多大な成果をもたらすものと思ひます。私は地域や地区に多少の気風の違うところや習慣から来る考え方の違いなどあつて然るべきと考へております。それらは地域の良きで

もあり、その良さは変化の妙でも申しませうか、面白いと思っております。

◆ ◆ ◆

第四には、各町会、自治会は、独自の行事をもって、あるいは、区や他の官庁の協力などで手いっぱい、何もその外の事は出来ない、実施してないところも当然あるでしょう。しかし、独自の行事が住民の町会意識の高揚の原動力となっているならば、大変心強いことなので、ぜひ、ご紹介下さい。

◆ ◆ ◆



古紙回収作業を見学する町会幹部

第五に、どうしても毎年ながら実行しなければなら

ないものに、交通安全、防火防災、健康づくりのための歩行会、青少年善導、防犯の協力があります。

交通安全は年二回、防火防災は、9月1日、11月9日をはじめ、地域別に年数回あります。中でも交通安全は、思ったより成果が上らないように思うのは私だけでしょうか。

けれど、区条例でも今度少し厳しいものが出来たので、多分成果はあると思います。取り締まるだけでは済まされない、皆さんに十分に考えて貰わねばならない問題が多々あるのです。学校に通う学生生徒や急

ぐ人は、駅の近くに自転車置き場を置きたいでしょう。良い解決はないものか？

と考えてみるのも良いことだと思います。特に家庭の主婦が買い物に出かけて、どこへ置いたらと考えるようではまことに不自由です。生活がしやすいことを行政の最たるものでありますから、私達もどうしたら住みよい区になるかを考えてい주세요。



駅前駐輪

効果の挙がるように実行すれば良いのですが、それにしても毎年協力してくれる人数の確保に苦勞するのは困り物です。

◆ ◆ ◆

さて、時代の変転や様相の変化により、生活の様相も常識的な考え方、風習までも変化します。

現今は、ますます高齢者が増加して、このままでは容易ならざる問題です。もっと、若い者の急速な増加が望まれます。私共正副会長も評議員に加えられると思いますが、十分に考え、よき知恵を絞り、何らかの貢献をせねばと思っています。

住民の第一線に立つ町会長の皆様から、上記のさまざまな問題について、ホットな情報を提供していただくことにより、良い解決策も生まれることと思います。

新しく生まれ変わった町総連だよりが、明るく住みよい町づくりのために、役立つことを念願しております。どうか、良き知恵をお授け下さい。

世田谷地域

町会が法人として公認されました

太子堂五丁目町会

会長 田中英

一、私達の町会は、昭和24年頃より町内に住む人達が集まり、親睦団体として発足し、現在まで44年が経過して参りました。

(東京都世田谷都税事務所 調べ)

◆ ◆ ◆

二、平成3年度に改正され

た地方自治法第二六〇条の二の制度に則り、平成4年度早々に、私達の太子堂五丁目町会は法人資格を取得すべく、世田谷

◆ ◆ ◆

第六は、緑化、安全、健康、美化清掃は、区の主導するまちづくりの四本柱ですから、よく協力し、実質



太子堂五丁目町会
地縁団体認可祝賀記念
(平成5年4月29日)
(太子堂五丁目町会クラブにて)

区長に申請書を提出しました。
そして、平成5年1月27日付で地縁団体法人資格として認可され、区役所に世田谷区認可第四号として登録されました。

◆ ◆ ◆

三、町会の皆様に多大なご支援とご協力を賜り、当町会の法人化が実現されたもので、誠に有り難く感謝申し上げます。
当町会の居住人口は、区役所区民課の調査では平成4年12月現在、三、〇四九名となっております。

また、当町会の同年同月集計では、太子堂五丁目町会の会員は八〇二世帯で、その家族および同居人は、二、八二九名です。

◆ ◆ ◆

四、町会の所有している土地(借地契約30年、58坪)建物(木造平家建て27坪)が国の法務局登記所で所有権の保存登記がなされ、平成5年3月10日権利書が発行されて、町会の財産として認められました。
(時価八千万〜一億円)
この町会財産は、子子孫孫まで伝えることができます。

◆ ◆ ◆

五、当町会は、法人の認可を受けたことにより、世田谷区との間で町会の発展のための基本が築かれて、当町会の新しき第一歩が始まったものと思われまます。
以上ご報告申し上げます。

年取れば籠人でなく朗人に

田中 英

ボランティアの一員として、町会の一人暮らしのお年寄りとの懇談会に参加し、大勢の皆さんとお話する機会を得ました。そして、そこでお会いしたお年寄りが心の持ち方や性格で、はつきり二分されていることに気がつきました。

普段から交流に気を遣い出歩いている方は、表情も明るく若々しいが、あまり出歩かず家に籠も

っている方は、何となく元気もなく心体ともに老けているということだ。私なりに云えば、同じ(ろう)でも前者は朗で、後者は籠であるということです。私はこの人たちとお話する機会ごとに、大いに歩くことは足腰を鍛えることになり、お友達を持つことは心を明るくすることであり、健康に一番よいと言っております。

また、お医者さんに聞けば、寝たきりになるケースの殆どは「籠人」であり、骨折などの怪我也、普段から出歩かないために骨が弱っている籠の人とも言われております。

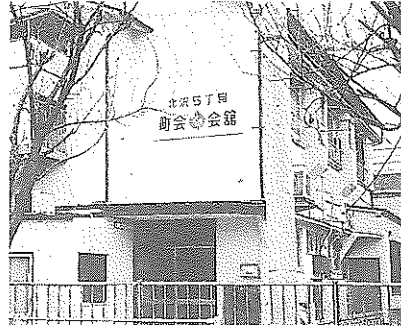
年を取ったら、仕事の代わりには大いに歩き、友達を持つことを仕事にして、籠人でなく朗人で明るく生きましよう。

北沢地域

町会の主催行事を通して

北沢五丁目町会

会長 斉藤孝雄



北沢五丁目町会は、平成4年11月18日、区内で三番目の法人として認可され、会員数は北沢地区では一番大きな町会である。今回、「せたがや町総連だより」第一号に、町会の組織率をテーマに据えて、記事を寄せるということでしたが、我が北沢五丁目町会は、町会が独自に持っている主催行事を中心に報告としたい。

◆ ◆ ◆



敬老者に記念品を贈る

一、新入学おめでとう会
本年度で十三回を迎えた。毎年3月、第三日曜日、北沢五丁目会館にて施行。
4月入学する予定者を調べ、祝い傘とお菓子を送る。予算一、八〇〇円ぐらいで、三〇名内外。
初めた頃は、六〇名くらい、予算も六万円を取っていた。

は、各部長が会員になるようにお願いに行く。三世帯ぐらい入会する。

◆ ◆ ◆

二、敬老者に記念品を贈る
敬老者七五歳以上に記念品を贈る。二、三〇名ほどで、予算三〇万円の予定。
町会員の世帯でない方は、入会していただくようにした。十世帯ぐらいの加入が

あった。
入会しない世帯の人には贈っていない。

◆ ◆ ◆

町会費は左のようになっている。(月額)

- (1) アパート居住者五〇円
二部屋以上八〇円
- (2) 自分の土地で自宅居住者 二〇〇円
- (3) 社宅居住者 一五〇円
- (4) 商店 A 二〇〇円
B 三〇〇円
- (5) 会社 A 三〇〇円
B 五〇〇円
C 一千元

(次に該当する方は、(2)、(3)、(4)、(5)の金額に加え金額とする。)

- (6) 貸地所有者 三〇〇坪以上 二〇〇円
五〇〇坪以上 五〇〇円
- (7) 貸家所有者 一軒につき 三〇円
- (8) 貸駐車場所有者 一台につき、三〇円
(但し、家族が無職の場合は、六番以上の加算はなし)
- (9) 生活保護を受けている方は、町会費免除

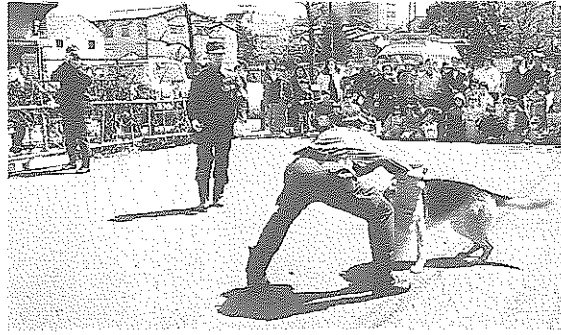
三、第十回記念まつり

オリエンテーリング大会



各班長、組長が、各部長より入場引換券を受ける。学年、名前を書き、町会員でない者はなるべく入会していただくようお願いをし、今回は、学校の境により、北沢中央自治会、北沢四丁目町会、北沢警察署防犯及び交通兩課、消防署、商店会、小学校PTA、和と輪の会、など、たくさんのご協力をいただいで、まことに盛大な大会となりました。

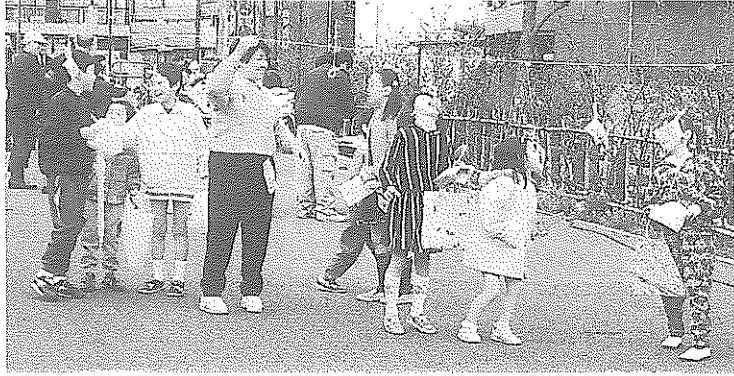
特に、警察犬及び白バイの参加で、子どもたちが大喜びでした。
 大人 五〇名
 小人 一〇〇名
 の参加でした。



反省会も五〇名も各所に於いて参加していただき、約半数の若いお母さん方で盛りあげられました。

コーナーも十二種類に分けて弁天様のお祝いも同日にしていただきました。

二年後に四〇周年が参りますので、その折は、全町会を挙げてお祝いをいたします。



玉川地域

奥沢中和会のあゆみと組織率
 及び今後の課題

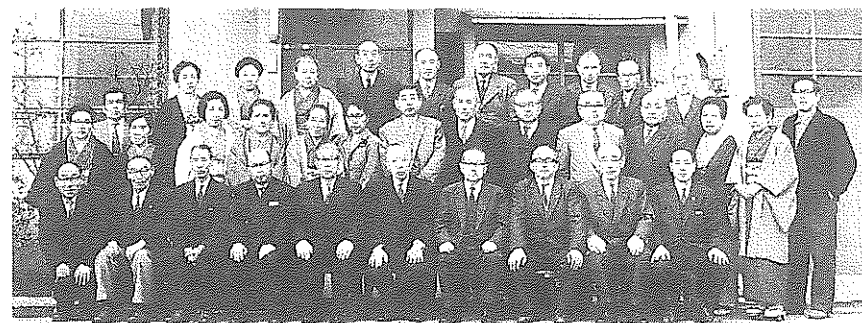
奥沢中和会

会長 板谷英宣

奥沢中和会は昭和7年10月に、世田谷区役所と共に歩み、戦争で一時中断して、昭和21年10月に再発足しました。まだ戦後のどさくさ

昭和25年以後、世の中が落ち着き、敗戦からの復興が目覚ましくなると、奥沢

の時期であり、当時の役員さんたちのご苦労は大変だったと思います。しかし住民の大部分は、太平洋戦争以前からの人達であり、特に戦争中の助け合いによってお互いに親密で、自分たちの住んでいる地域に大いに愛着を感じておりましたので、新しい奥沢中和会の発足に当たっても、協力助言を惜しまず、苦しい生活環境の中から率先して会費を払ったりもいたしました。当時の町会の組織率は、90%を越えていたものと思われます。(正確な資料が見当たりませんので推定です。)



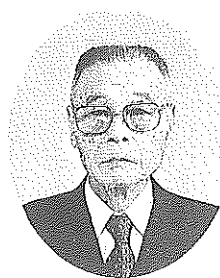
奥沢中和会創立30周年記念 (昭和37年11月23日)

中和会でも独自の行事を計画するようになりました。廃品回収、バス旅行、老人のためのレクリエーション、講演会など。又、夜道を安全にするための街燈の補修を始めたりました。これらすべてを、回覧板や掲示板を通して、町内の皆さんに周知徹底させるよう努力したのは申すまでもありません。

奥沢中和会が古紙回収に積極的に取り組んだのは昭和47年で、未だ行政が資源のリサイクルをアピールする十年以上も前のことでした。

奥沢中和会主催の諸行事が町内の各家庭の話題ともなっており、新たに転居して来た所帯も趣旨を説明すれば気持ちよく中和会に入会してくれました。

地域 砦



情報誌の創刊に寄せて

世田谷区町会総連合会

副会長

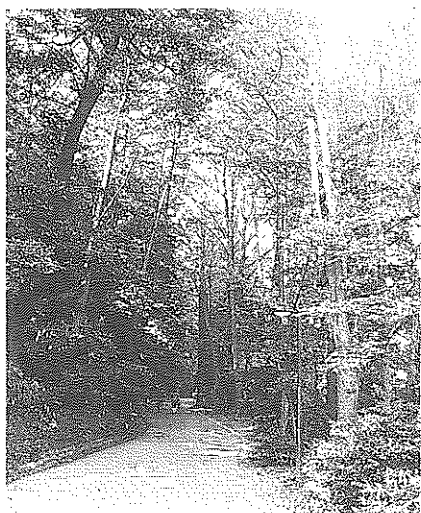
竹内 淳 夫

世田谷区の町会総連合会の情報誌が創刊されることになり誠に喜ばしく存じます。

三田会長が常々真に為になる情報誌を作りたいと言

その努力に対し深甚の敬意を表する次第です。

われてきたが、編集委員が選出されて、その方々と役員諸氏の協力で実現の運びとなりました。



岡本静嘉堂緑地

又はお教えられて、よりよい町会運営に、明るい町づく

次に注目しなければならぬのは「めぐみ婦人会」の活躍です。



「めぐみ婦人会」は奥沢中和会に遅れること一年、昭和22年11月に結成されました。今では知る人ぞ知る汲取券の取り次ぎ、現在で

奥沢中和会では、会費の徴収などは、小区画に分かれて評議員の方が行っていましたが、負担が大きいの理由から、当番制にして一年交代で集金を実施しております。尚、会費の他、赤十字募金、共同募金などの各種募金も年に何度かありますが、多数の方の要望に基づき、平成4年より町内会費と各種募金を一括して徴収することに致しました。



めぐみ婦人会設立記念 (昭和22年11月)



めぐみ婦人会バザー (平成5年)

は各種講習会、敬老会など、又、ボランティア活動として不用品即売会、アルミ空き缶回収、福祉施設への奉仕などを積極的に実施しています。

実はこの婦人会の主要メンバーが奥沢中和会の理事をも兼ねておりますので、結果として「めぐみ婦人会」と奥沢中和会が持ちつ持たれつの関係で、多くの仕事を進めています。従って婦人会に協賛される方々が多数中和会会員になってくれている事実も決して見逃す訳にはいきません。

又、奥沢中和会の所属する八幡小学校、八幡中学校のPTAの方に理事をお願いして、学校行事を通して中和会との結びつきから組織率の向上をはかる努力をしております。実際のところ、現在の奥沢中和会の地域には、約三、九〇〇世帯があり、中和会会員は三、四七一世帯、即ち89%の組織率になっています。最近ではマンション、アパートなどの集団住宅が増加し、管理者のいる所は趣旨を説明してまとめて会員になってもらえますが、アパートの場合、入居者に学生、独身者が圧倒的に多く、又、新陳代謝が激しくて会員になってもらえないケースが少なくありません。今後はこの種のアパートが増加の傾向なので、奥沢中和会としてもさし迫った課題として、取り組まなければならないと思っております。

一九一の単

位町会では、

それぞれの慣

習や気風が異

なり、独自の

行事や催し物

等が行われて

いると思いま

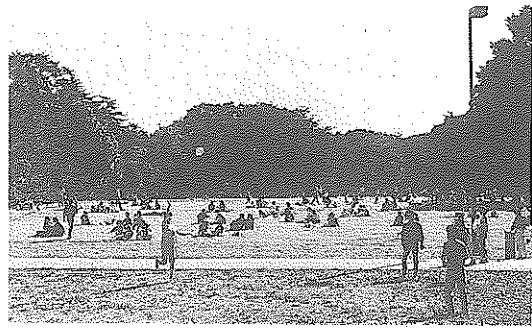
す。それらの

資料を発表し

てもらって、各町会では取

捨選択して、あるいは教え

りに役立てられたらよいな
あと思います。そこにお互
いの交流も生まれ、親睦も



砧公園

深まり、よい仲間づくりが
生まれ、よい町づくりが出
来ると存じます。

各町会で発行しているミ
ニコミ紙なども、それぞれ
特徴がありましょう。それ
を發表してもらおうのも有意
義だと思われま。高齢者
や子どもの事故防止策、ゴ
ミの出し方やリサイクルの
問題等も重要な課題ですし、
毎年実行している防火、防
災、防犯、交通安全運動等
も関係官庁と協力してい
かねばならず、町会の仕事
が増加多様化している現在で

は、町会同士の連携が
ます必要度を増しています。
それらを情報誌を通して
助長出来ることが期待され
ます。

私の町会では、会員の増
強運動に取り組んでいます。
なかなか思うようには行か
ず悩んでいる所です。入退
会が自由な任意団体とはい
え、マンション、アパート、
独身寮等の入会者は極く小
数です。「秋深き、隣は何
をする人ぞ」式では困りま
す。

ありたいものです。向こう
三軒両隣の昔の交際がな
つかしくなります。

町会の運営は、予算にし
ばられて、多様化している
諸種の行事にも大変に支障
をきたしています。それぞ
れの町会でも同様と思われ
ますので、何かよいアイ
ディアで、成果をあげてお
られる町会の実例などを紹
介していただければ幸甚と
存じます。

発掘して依頼するのは、ほ
んとうに骨の折れる事です。
皆さんの町会では如何で
しょうか。

尚、消防団のあり方につ
いてもいろいろと話もあり
見直しの必要ありという意
見も出ていますようですが、
問題だと存じます。
そのほか、ミニ防災訓練
の実施方法、交通安全運動
の幕舎設置なども、いろい
ろ検討されています。

烏山地域

町会運営

烏山地区は三〇年〇四〇
年前に比べると数倍の人口
増加になっている。烏山中
町会としても例外ではない。
近年のこの人口増が町会連
営にとって様々な問題を投
げかけている。例えば、ワ
ンルームマンションや共稼
ぎ世帯の増加により、町会

加入率の低下、町会構成員
の高齢化や最近越して来て
会員になった方々から寄せ
られる新たな要望など、従
来の運営のあり方に影響を
あたえる課題があります。
現在町会運営に際し常々心
掛けていることは、会員の
皆さんから集めた会費を、

いかに有意義に使い会員に
対して還元するかを考えて
います。そして今後も課題
解決に真剣に取り組んで行
かなければと強く思ってお
ります。

では、現在の運営状態を
各部の役割と活動の紹介を
することにより説明させて

烏山中町会

会長

細井虎昭

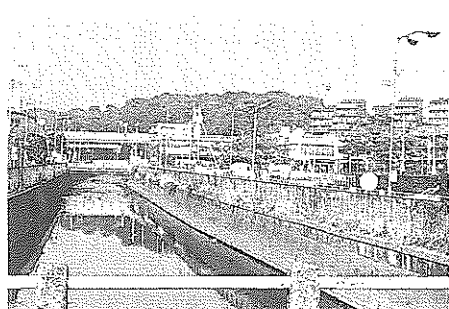
いただきます。

総務部

新年度の総会準備、毎月
の役員会準備、各部活動の
調整、意見のまとめなど、
運営の中心となっている。

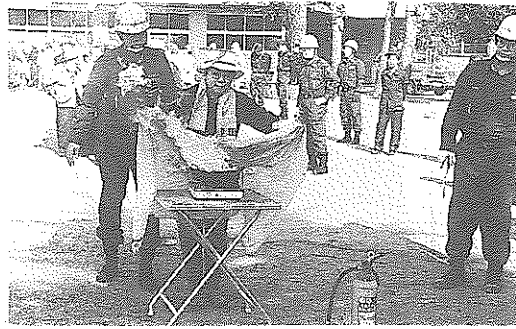
防犯部

防犯としての効果をあげ



仙川、水神橋からの眺め

るため、地域の呼び掛けを町会事業の部活動として会員の意識を強める。部活動としては、成城警察署防犯課の協力を得て、防犯の集いを行い、座談会方式で事例を主として、また防犯診断を署員の方々と役員共々会員を訪問し効果をあげている。診断参加者は二〇名以上になる。また防犯課と絶えず連絡を密にしている。



天ぶら油の消火訓練

防火防災については、烏山地域、烏山地区防災に多くの参加者を出し、種々の訓練見学をしている。町会事業としては、成城消防署消防団の協力を得て、防火

防災診断を行っている。

また消防団の協力のもと、消火防災・炊出し・ポンプ操作・救護等の訓練を行っている。また当町会にある三ヶ所の病院と、災害活動相互応援協定を結び、各病院と訓練を行っている。

厚生部

内容としては町内会のバス旅行、神社仏閣を尋ね、知識をひろめ会員相互の親睦を願い、バス二台にて行われている。また敬老の日には町会よりお祝い品をお届けしている。今年には三五〇名程の会員の方々が対象になっている。また町会役員の親睦も行っている。

交通部

交通部としては、春秋の安全週間には各部の応援を求め成果をあげている。また、祭礼、盆おどり、会員宅の葬儀の依頼のある時等には部活として交通整理として参加している。

婦人部

婦人部としては各部の応援と清掃局に協力している。

青少年部

主に町内にある小学校、

町総連ニュース

○世田谷地域、下馬二丁目南町会は、平成6年9月30日で解散との届け出があった。

これにより町総連町会・自治会の数は、一九一となる。

○平成6年7月25日付で、堀江貞雄氏は八幡山町会長を退任、後任として長島清一氏が就任された。

この異動により、町総連役員が次のように代わった。常任理事、堀江貞雄氏か

ら大森一三氏に、理事（上北沢地区）は長島清一氏となる。

情報誌編集委員会

いままでの情報誌検討委員と、各地域からの二名の編集委員が、6月28日三田隆眞会長より委嘱状が交付され、情報誌編集委員会が発足した。

●編集委員長 渡辺三郎

●同副委員長 田中英

●編集委員 神保充夫 清水庄太郎

齊藤孝雄 宗 晴

板谷英宣 細井正一

齋藤 篤 島田彌太郎

倉本俊幸 細井虎昭

烏山中町会としての内容を記しました。

これからの運営のあり方としては会員の要望に答えつつ、楽しい生活の出来るまちづくりにつくしたいと考えております。なお、町会として地域諸団体との交流はもとより、区・警察・消防等各行政には深く関わりをもち、町会運営向上のために努力していきたいと思っております。

編集後記

地域の特性は夫々に尊重し、その中で共通の関心事を探ってゆこう。そのためには原稿依頼にあたって余り細かい枠を嵌めないで……ただ本号では共通の話題として「町会への加入率」に触れていただければいいな……という大ざっぱな方針で編集に取りましたが、漸く皆様のご協力を得て全地域から均等に原稿を頂戴し、なんとか第一号をまとめることができました。

三田会長からは全般に亘って細かく問題点の提示と解決に向かったの方針を披瀝していただきましたが、更に砧地域からは竹内副会長が地域会長としてのお立場で相呼応する所感を述べて下さって、個々の町会からの具体的な発表と相俟って思いがけぬ調和を醸し出されているのではないのでしょうか。

皆様が自由に発言できる空気を作るよう全地域等しく参加を心がけて行きたいと思っておりますのでよろしく。

(W)